



暮らしの瓦版

2010年05月号



地球にやさしい快適「エコ住宅」(2)

「ハウスメーカー最新住宅事情」



近年、住宅業界ではエコロジーへの関心が高まり、エコな設備や素材が続々と登場しています。それらを上手く組み合わせ、環境負荷が少なく、かつ健康で快適な暮らしを得られるのが、「エコ住宅」です。環境への貢献はもちろんのこと、従来の住宅より省エネ性能が高く、太陽光など創エネ機能を備える住宅も増えています。おり、光熱費の大額な削減も期待できます。そもそも「エコロジー」という言葉は、ギリシャ語の「オイコス(=家)」が語源で、エコ住宅に住むということは、エコ活動の基本、といえるかもしれません。国内のハウスメーカーも、「高断熱」「環境負荷の少ない自然素材」「緑豊かな家」「低消費電力家電」「太陽光発電システム」「住宅用燃料電池システム」をうたい文句に、様々なエコ住宅を打ち出しています。その中でも、エコ住宅の基本ともいえる性能が「断熱」。外気の影響を受けにくくする断熱材や断熱構造を施せば、エアコンの効率も上がり、ランニングコストを削減できます。外断熱・内断熱、開口部(窓・ドア)の断熱など方法は様々ありますが、高断熱な施工がエコ住宅においては一番重要です。それぞれの製品が、どのような断熱対策をとっているかは、チックにしておくと良いでしょう。メーカーによつては、「Q値(熱損失係数、単位はW/m²k)」といふ、住宅の断熱性を表す数値で具体的に表している場合もあります。

断熱性が高ければ、家の「省エネ」性能は格段に高まります。近年ではそれに「創エネ」性能を付加することで、さらにCO₂の排出を抑える住宅が増えています。なかでも最もポピュラーな太陽光発電システムについては、多くが設置を考慮した設計になっています。現在はハウスメーカーの住宅には標準装備としているものが多く出てきています。

では、実際にエコ住宅選びをしている人々の関心が高いのは、どんな設備なのでしょうか。主要ハウスメーカーへのアンケート結果からは「太陽光発電システムに関する問い合わせが多い」との回答が得られています。太陽光発電システムへの関心が高まっているのは確かでしょう。

近年、住宅業界ではエコロジーへの関心が高まり、エコな設備や素材が続々と登場しています。それらを上手く組み合わせ、環境負荷が少なく、かつ健康で快適な暮らしを得られるのが、「エコ住宅」です。環境への貢献はもちろんのこと、従来の住宅より省エネ性能が高く、太陽光など創エネ機能を備える住宅も増えています。おり、光熱費の大額な削減も期待できます。そもそも「エコロジー」という言葉は、ギリシャ語の「オイコス(=家)」が語源で、エコ住宅に住むということは、エコ活動の基本、といえるかもしれません。国内のハウスメーカーも、「高断熱」「環境負荷の少ない自然素材」「緑豊かな家」「低消費電力家電」「太陽光発電システム」「住宅用燃料電池システム」をうたい文句に、様々なエコ住宅を打ち出しています。その中でも、エコ住宅の基本ともいえる性能が「断熱」。外気の影響を受けにくくする断熱材や断熱構造を施せば、エアコンの効率も上がり、ランニングコストを削減できます。外断熱・内断熱、開口部(窓・ドア)の断熱など方法は様々ありますが、高断熱な施工がエコ住宅においては一番重要です。それぞれの製品が、どのような断熱対策をとっているかは、チックにしておくと良いでしょう。メーカーによつては、「Q値(熱損失係数、単位はW/m²k)」といふ、住宅の断熱性を表す数値で具体的に表している場合もあります。

断熱性が高ければ、家の「省エネ」性能は格段に高まります。近年ではそれに「創エネ」性能を付加することで、さらにCO₂の排出を抑える住宅が増えています。なかでも最もポピュラーな太陽光発電システムについては、多くが設置を考慮した設計になっています。現在はハウスメーカーの住宅には標準装備としているものが多く出てきています。

では、実際にエコ住宅選びをしている人々の関心が高いのは、どんな設備なのでしょうか。主要ハウスメーカーへのアンケート結果からは「太陽光発電システムに関する問い合わせが多い」との回答が得られています。太陽光発電システムへの関心が高まっているのは確かでしょう。

メ生モ活

季節の行事

メ生モ活

季節の言葉

メ生モ活

季節の言葉